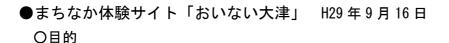
町家等歴史的遺産活用プロジェクト会議 事業報告

●オーツリー (JR 大津駅観光案内所) に大津町家コーナー設置 H29 年 7 月 18 日 まち遺産マップ英語版 発行

〇目的

大津の窓口となる JR 大津駅の観光案内所のリニューアルに合わせて、その一角に「大津町家コーナー」設置。英語版のマップを拡大してパネル化し、日本語版と英語版のまち遺産マップを併設。また、既設のタッチパネルモニター2 台を活用して町家じょうほうかんのサイトと登録有形文化財を紹介している。びわこ大津草津景観推進協議会の連携事業として取り組んだ、東海道モデル案内看板のサンプルも設置。





観光客が観光地ではないリアルな生活の場がある「商店街」での体験を通して、大津百町での 生活や文化を伝える着地型観光。コト(地域の人とのふれあい、体験)を来訪者に提供する新し い旅のスタイルの提案。PayPalによる予約確定決済システム導入。日本語版/英語版あり





HOME ABOUT 体験プラン ご予約 A/あ

伝統の味・箱寿司づくり 体験

商店街で体験するディープな大津。



Oinai Otsu とは?

「おいない」とはこの地域の方言で「いらっしゃい」という意味。

ここ滋賀・大津の商店街では、人々の日常がゆったりと流れています。昭和に 建てられた建物の並びに、ぽっと現れる江戸創業の風格ある老舗。そこで品定 めをするご婦人と、その横を通りかかる学校帰りの小学生。観光地にはない、 ここに住む人との距離感が限りなく近い。

Oinai Otsuでは、そんな商店街にて選りすぐりの文化体験プランを提供しています。「体験型商店街」で発見する大津の魅力を、是非ご堪能ください。

Morital 体験プラン



○今後の課題

み一つ大津・秋でのみ公開したが、参加者は11名。運営や、新たな体験プランの構築、大津に 宿泊する方への提供方法、積極的な広報について、今後、宿場町構想の中で進めたい。

●宿場町構想 先進地視察 篠山 NOTE 視察 H30 年 2 月 20 日

〇目的

市では、次世代に大津宿の歴史を伝えるとともに、大津のまちへの滞在期間を増加させるため に宿場町大津の復活をめざした「宿場町構想」の策定を進めている。そこで兵庫県篠山市におけ る一般社団法人ノオトの取組みについて、会社としてのコンセプトを学び、古民家を活用した事

業展開を知り、宿泊施設(篠山城下町ホテル NIPPONIA)を見て、これから大津百町がめざす『宿場町構想』でそれぞれが何をするか、みんなで何ができるか、持ち帰る。21 名参加。







〇参加者の感想及び宿場町構想への提言 ※一部編集

- ・「粋世」や「商店街ホテル」等は宿場町構想のハード面での整備だが、地元の者は何かできることがあるのではと思う。たとえば、旅の人を暖かく迎え、地元の者が全員でガイドをできれば、旅人に喜んでいただけるのではないか。定期的に勉強会、例えば「大津まちなか大学 宿場町学部」といったおもてなしの人材育成ができる場を開くことを提案。
- ・私達がどんな街をめざすのか、大津市がどんな街をめざすのかの視点がまず必要。ノオトの篠山での 構想は、富裕層向けの城下町ホテル構想。大津では、多くの人達に来ていただくための構想、売り手 と買い手の応酬話法が見受けられる庶民感覚あふれる街づくりが必要だと思う。
- ・空き家を改修し、新しい店を作り、それによる新しい街の魅力を作ることや、誘致するために どう資金の流れをつくるのかということ、参考となったが民間一事業者だけでは難しいと感じ た。ぜひ、市や各団体、地域住民と構築していくことができればいいなと思った。
- ・篠山の再生は関係者の熱意、知恵の結集があっての結果ではあるが、そこには地域全体をどう していくかという戦略が伺えました。篠山市民の反応(対応)が気になったが再生提案の働き かけに、わが地域わが在所の課題として動いておられる、という印象だった。集落丸山にアポ 無しで飛び込んだときの自治会長さんらの対応にも、ああ、ここの人達はすでに訪問者をもて なすプロの心意気を持っていらっしゃると感じ入った。
- ・理念のベースに大きな「情熱」と「愛情」があることに感銘を受けた。
- ・ノオト社に感じたことは、①目標を達成するためには法律をも変える気概、②リスクを背負う 覚悟、③社会の課題解決という大義と経済的根拠を併せもち、持続可能であること。「自主、 自立、自発」。中活終了後、私達がもつべき最も大切な精神性と考える。
- ・市の掲げる宿場町構想やジュネーブ構想など、今後トップが変わっても実行性を持って推し進めて欲しい。中心市街地全体で空き町家を活用できる手法を検討して欲しい。まちの活性化には、若者の進出が不可欠と考えるので、シェアオフィスや日替わり店長のシェアカフェなど、若者のチャレンジを後押しできるような町家の活用ができればと考える。
- ・宿場町構想のことを地域住民に知ってもらうことが必要。宿場町構想に理解のある「地域の顔役」を取り込めるか。だれが(どこが)事業主体となって活動できるか。
- ・宿場町構想は、誰もがいつからでも参加できるクラウドのようなものであってほしい。

●町家等活用事業「商店街ホテル 大津町家」整備事業 →『 HOTEL 講 大津百町 』

〇事業概要

(株)木の家専門店 谷口工務店が、中心市街地の商店街や旧東海道に残る伝統的な大津町家、7 棟を購入または賃貸し、一棟貸し5棟と2箇所で8部屋の宿泊施設事業を開業する。新潟で「2014 年度 グッドデザイン賞 | を受賞した「里山十帖 | を運営する出版会社 自遊人が運営する。4月



●大津百町・町家じょうほうかん

〇空き町家マッチングイベント H29 年 11 月 12 日

ホームページの物件情報で募集中の大津町家 4 件を含 む 5 件の建物を実際に見ていただき、直接、所有者又 は仲介者と話ができる「空き町家マッチング見学会」 を開催。26人が参加し、1件が契約に繋がった。

〇所有者向けパンフレット作成協力

未来まちづくり部空家対策推進室にて、所有者向けパ ンフレットを作成し、空き家所有者に郵送していただ



